

## 第9回 魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成27年3月18日(水) 13:30~15:25					
2. 会場	魚沼市堀之内公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
	会長	中山 節子	○	委員	山本 都子	○
	副会長	坂大 優	○	〃	羽鳥 敦子	○
	委員	高橋 麻衣子	○	〃	星 弘子	○
	〃	長谷部チエミ	○	〃	星 智裕	○
	〃	小幡 賢之	○	〃	星 春子	○
	〃	小林 栄一	○	〃	上重 礼子	○
	〃	今井 久子	○	〃	星 麻衣	○
	〃	浅井 和代	○			
魚 沼 市						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">魚沼市子ども・子育て会議庁内検討メンバー</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康課健康増進室：磯部 篤子（係長）</li> </ul>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">魚沼市子ども・子育て会議事務局（教育委員会）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会：森山 正昭（次長）</li> <li>・子ども課：高橋 和代（課長） 風間 松司（係長） 戸田千穂子（係長） 星野佐公子（主任管理栄養士）</li> </ul>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次世代育成支援行動計画(後期計画)評価委員会(担当者)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり室：桑原剛史（主任）、厚生室：桑原弘幸（係長）、健康増進室：磯部篤子（係長）、建設室：広瀬大（主任）、都市整備室：小山収（主任）、学校教育課：五十嵐実（係長）、生涯学習課：伊藤長子（主任）</li> </ul>						
4. 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 次第</li> <li>(2) 魚沼市次世代育成支援行動計画(後期計画)(事前配布)</li> <li>(3) 次世代育成支援行動計画事業評価資料作成要領(抜粋)(事前配布)</li> <li>(4) 魚沼市次世代育成支援行動計画(後期計画)平成26年度事業評価シート(事前配布)</li> <li>(5) 魚沼市子ども・子育て支援事業計画(当日配布)</li> <li>(6) 魚沼市子ども・子育て支援事業計画(概要版)(当日配布)</li> </ul>					

5. 議事詳細	
高橋課長	<p>それでは会議を始めさせていただきます。こんにちは、今日は皆様お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今日の出席状況ですが、お一人遅れていらっしゃるという連絡が入っております。全員の方のご出席をいただきます。大変ありがとうございます。では、毎回の事になりますが、本日の会議も録音させていただきますと共に、会議の終了時刻は、およそ三時半、2時間の会議を予定しておりますので皆さまのご協力をお願いいたします。では、会議に先立ちまして教育次長よりご挨拶申し上げます。</p>
森山次長	<p>皆さんこんにちは。年度末の忙しい中、こうやってお集まりいただいて大変ありがとうございました。この会議も、今年度最後の会議になろうかと思えます。今日皆様の机の上に子育て支援事業計画を上げてございますが、昨年度、皆さんが本当に熱心に会議をしていただいて、その結果が今机の上にあるような形でまとまりました。本当にありがとうございました。計画は計画を作ることが目的ではないわけですので、この計画に沿ってきちんと事業が展開できるように私どもも一生懸命努力していきたいと思っております。また、ご承知と思えますけれども皆さんの任期が今年度末となっております。新年度からは、また新しいメンバーにお願いしたいと思っております。ただ、再任のお願いをした方については、事前をお願いしておりますので大変忙しい中恐縮でございますけれども、また一緒にお願いしたいと思っております。今日は2時間の会議ということですが、よろしくをお願いいたします。</p>
高橋課長	<p>では、ここで事務局から配布資料の確認をさせていただきますのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>～配布資料の確認～</p>
高橋課長	<p>では次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。会長ご挨拶の後、議事につきましては進行をよろしくお願ひします。</p>
会 長	<p>では、改めまして皆さんこんにちは。ここ数日の暖かい気候のせいか子どもたちも花粉で鼻をぐすぐすしている子もいるようですが皆さんいかがでしょうか。この会も今日で最後ということになりました。先程いただいた計画ですけれども、ダイジェスト版を見ても基本理念『未来に向かって 子ども・家庭・地域の力で育ちあう魚沼』このことから皆さんで検討したのだなとつくづくと感じるところです。先程の話にもありましたけれどもこの計画が実行性のあるものになることを願って、それぞれの立場で、私たち自身もこれに向かって進めていきたいなど、また気持ちを新たにしているところでもあります。それにしましても、これをまとめるにあたりまして事務局の皆さんの大変なご苦勞があったと思えます。大変ありがとうございます。</p>

	<p>ざいました。今日は事業評価ということですが、評価は課題を見つけて、そしてそれがまたどんなふうに進められていくか、どんな解決の手立てがあるのか、そんなところを探りながら、また一歩事業が前へ進む、そういう形で今日議論をしていただきたいと思いますので、いつも通り皆さんの活発なご意見を頂戴したいと思います。今日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
高橋課長	<p>皆さん申し訳ありませんが、次長はこの後がありますので、ここで退席させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、次第の4議事に移ります。本日は次世代育成支援行動計画、後期の計画に記載されている事業の中から27事業について評価をしていただきます。それ以外の事業については事業評価がされ、皆様のところに事前に資料が送付されているかと思っておりますけれども、事業についての補足説明を行っていただきます。事業の説明は続けて行っていただきます。それではお願いいたします。</p>
事業担当者	<p>～事前配布資料により説明～</p>
会 長	<p>説明ありがとうございました。それでは今までの事務局の説明についてのご質問、それから評価の内容に関して意見をお願いしたいと思います。時間は限られていますが、今日は皆さんご参加ということですので1人一つは発言していただけると大変ありがたいと思います。ではよろしくお願いいたします。</p>
委 員	<p>164番「児童生徒の安全確保事業」のところですが、私は二年程前に小出小学校裏の旧国道ですが、そこが大変細い道です。朝の通学時間帯に車が大量に通るので、市に言ってほしいということで、学校を通して言ってもらうように働きかけたのです。個人の意見では上になかなかあげられないと。そこで去年見守り隊の方が、四、五月頃だと思うのですが、朝の時間帯に車が大量に通っていることに気がつかれて、警察の方も一定期間注意をしてくださっていたんですね。その期間は車もだいぶ減って子どもの安全も確保できたと思うのですが、警察の見守りが終わったとたんにまた車の台数も増え、スピードを出し、前に戻ってしまったんですね。これは運転する側の問題なのかもしれませんが、通してずっと見守っていただきたいなと思うんです。事故が起こってからでは遅いので。道路にも何時から何時は通学路で、車は通行禁止にするとか、もっとしっかり安全を確保した方がいいのではないかなといつも思っていましたので、この場を通して発言させていただきましたのでよろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。このことに関して、一つの課だけではなく、複数関係課がまたあるかと思っております。また県との関わりがあるかもしれませんが、学校教</p>

	育課いかがでしょうか。
学校教育課	確認ですけれども、おっしゃっている道路というのは、小学校寄りの旧県道のところでしょうか。
委員	そうです。
学校教育課	先程会長がおっしゃられたように、教育委員会内部で話を出して協議する必要があると思います。
会長	貴重なご意見ありがとうございました。他にありませんか。
委員	164番のスクールガードの減少についてですけれども、我々PTAを通じて皆さんに募集してもやはり高齢化もありますし、時間の問題もありまして、なかなかスクールガードに手を挙げてくれる方が少ないのと、逆に手を下げられる方が増えてくるという状況になっております。その中で、児童数の減少によって、登校は集団登校できるんですけども、逆に心配なのは今学童とかありますので小学校1年生の子が一人で帰るといった状況が非常に心配な事があります。平成28年度に計画されています井口小学校の移転に伴い、今、PTAの方で通学路の見直しをしております、今までスクールバスで通っていたところが距離の関係で徒歩に切り替わる箇所があります。そこで、距離的には2キロほどなので、保護者さんたちはちょうどいい距離じゃないかと言う声も多数聞くのですが、つい数日前まで保育園に行っていた1年生の子が2キロ歩いてくるのは、スクールガードなしでどんなものなのか。不審者が心配という意見も聞いておりますので、非常に心配な部分があります。ですが、色んな地域の現状や、過去の歴史もありますので、今すぐとは言いませんけれども、例えばスクールバスを有効利用するとかで、距離の規定を少し緩和していただければありがたいなと思います。
会長	今の質問についていかがでしょうか。
学校教育課	すみません、直接の担当がここに来て質問に答えればいいのでしょうかけども、今のご意見をまた内部で出したいと思っております。今ここではっきりお答えはできませんけれども、話はさせていただきたいと思っておりますのでお願いしたいと思っております。
会長	よろしいでしょうか。
小幡委員	だいたいいつも同じ回答なので。

<p>会 長</p>	<p>一校のみではなく市内のたくさんの学校、それから中学校の部活の関係等もあって、なかなか一定のところでは線を引かなければならないという実情もあるかと思えます。また、今のお話の中でスクールガードの方が手を下げる方もいらっしゃるということであり、それはまたその地区、あるいは市全体で何か働きかけ、あるいは方向性を出すのもいいのかもしれませんが、またご意見があったら後程伺いたいと思います。ありがとうございました。その他ございませんか。それではお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>14 番の「子育て支援センター開放」のところをお願いいたします。堀之内子育て支援センターが今年度で終わりということですが、利用者の延べ人数をみると昨年度よりも 1000 人以上増えております。そういうこともあり今度、小出子育て支援センターの方が土曜日を毎週実施するようになるんだろうなと思われませんが、昨年の会議で保護者とのおしゃべりに夢中でなかなか子どもを見てもらえないという課題があがったのですが、開催が増えるということになるとまたそちらの方も非常に気になる場所です。課題の改善策があったのか、また増えるにあたって職員の確保は大丈夫なのだろうかというところが気になる場所ですのでお願いいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは子ども課の方でしょうか、お願いいたします。</p>
<p>子ども課</p>	<p>昨年度の会議で、親同士で話をしているというようなお話がございました。親御さんがそこで仲良くなっていろいろ子育ての悩みを打ち明けたり、相談しあったりと、そこでほっと一息ついていただけることは、それはまたそれでいいのかなというふうには思いますが、具体的な改善策については、申し訳ありませんが、子育て支援センターから確認をしてみませんでした。職員の確保については、実際今いる職員の土曜勤務の日数や、パート職員を増やす等の対応を考えていると思っています。土曜開催は、ニーズ調査などのご要望に応じてということで、日数を増やしたというところでもあります。</p>
<p>委 員</p>	<p>これに関してなんです。小出子育て支援センターの利用者が 1063 名増加していると、職員の確保、スタッフの確保について、今話があったのですが。逆に私どもは保育所の園児が 30 何名も減っており、保育室が 2 つばかり空きますので、子育て支援センターを開設をして、保育士の免許のある人達を使って支援センター的なものを立ち上げて相談にあたりたいということを考えていたのですが、最初に言われたことは小出子育て支援センターと距離が近いから駄目だというお話をいただいたのです。それもそうかなあと思いましたが、なかなか常設の保育所の保育室が空く状態、免許のある職員が雇用を失う状態ということになってきます。従いまして、今度は別の保育ニーズがあって、サービスできるものがあれば、要するに認可保育園がそういうところに、サービスをしたいと思っているところもありますので、</p>

	<p>そのことも含めて検討していただきたいです。また非常に大変なことは、基幹病院が来たためにその周辺の私立保育園の方で看護師、保育士、調理師の確保が大変難しいところが出てくるんですよね。別の事をやらないと少子化になるといいますので、保育所の方もメニューをたくさんにして、今いる職員の職場の確保もしていきたいなということもあるのです。ですので、全体的に考えてやっていただきたいなと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。今のご意見の一つということで、また一体的な考え方の中での参考いただいて、ご検討いただければと思います。その他ありませんか。どうぞ。</p>
委 員	<p>私は障害者関係のところを、全体的にお願いいたします。ステップアップ教室の5月からスタートして、ペアレントトレーニングとかペアレントプレプログラムというのを早めに始めるということに対して、親御さんはやっぱり不安の中で過ごしていることが多いと思うので、親御さんの早いケアや支援をしてもらう事も必要なので少しでも早めにしてもらえてありがたいと思います。また、知識の蓄積が課題であるというふうにありますけど、きちんと障害者を理解し、その困り感を理解している人が継続的にいてくれるというところが、親にとっても子どもにとっても大事なことだと思うので、短いスパンで代わるということがなく、長い目で見られるような職員配置にしていいただければいいなと思います。子どもを真ん中に置いて、その子に対してどのような支援が必要なのかっていうのも、園、保護者、やはり専門家、かけはしの専門相談員も入ることなので、皆さんでよく相談して、お子さんがスムーズに園や学校生活又は社会生活を送っていただけるように当たり前の生活が当たり前できるように、皆で支援していただきたいなと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。特別な支援が必要なお子さんについては、やはり、スムーズな移行というのが、適正な教育を受けることに繋がりますので、この地区には、小出の特別支援学校というのがありまして、専門的な知識を持っている職員も随分おりますし、そういったところと連携するののもひとつの方法かと考えております。それでは、他にありませんか。</p>
委 員	<p>今ほどの特別支援のことについて、私も何点か質問があります。181番「支援ファイルの活用」ですが、昨年も質問させていただきまして、25年度は全体で22冊配布と伺っておりました。26年度はどれくらい配布されたのかお聞きしたいところです。渡し方が難しいというのが毎回課題にあがっているように思いますので、それをどのようにクリアしながら渡されていっているのかなということと、それから56番「子育てセミナー」ですが、昨年、特別支援児の理解を少しここで話をされてはどうだろうかという意見が出ておりました。それに対応してくださったからでしょ</p>

	<p>うか、特別支援教育士というのを講師の方にあげられていたので。もしそれで行ったのであれば、親御さんたちの反応はどうだったのかなということをお聞きいたしまして、今後、やはり特別に支援が必要なお子さんが増えてくるだろうと思いますので、周りの方への理解をどのように考えているのかお聞かせいただければと思います。</p>
会 長	<p>それではお願いいたします。</p>
子ども課	<p>配付数ですが、ステップアップ教室に参加している保護者の方に配布していると確認が取れています。ですので、26年度については19冊ということで、ご理解いただければと思います。お子さんが教室をやっている間に、保護者の方に2、3回くらい使用方法を説明して、一緒に記入する方法で支援ファイルを使っていたきました。</p>
委 員	<p>ステップアップ教室に通っていなくても、長岡療育園等に行かれている方もけっこういらっしゃると思うのですが、そういう方たちへの働きかけとか、この支援ファイルを本当に一生懸命使うように考えるのであれば、各保育園、幼稚園などに話をされるというのも一つの方法なのかなというふうに思われますがいかがでしょうか。</p>
厚生室	<p>そのことにつきましては、昨年度のご意見をいただいた中で取組みを予定しておりますが、少々遅れておまして、年度末に実施する予定です。保育園や小中学校の職員に、こういったファイルがありますのでご案内し、何か相談があるときに継続した支援に結びつくような活用をお願いしたいと思っています。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習課の子育てセミナーでは、特別支援教育士の先生に4校ほど入っていただきました。それ以外では、教育委員会としましては「温かい学級づくり」という計画がありますのでその説明に合わせて、魚沼市では発達障害ですとか、子どもたちへのバックアップ体制が整っておりますので、教育委員会、学校の先生、または学校の相談の窓口等にお気軽にご相談をくださいということを子育てセミナーの始まる前に毎回アナウンスをさせていただいております。保護者の方からの反応につきましては、今のところきっちりと把握はしておりません。</p>
会 長	<p>よろしいでしょうか。他にありませんか。</p>
委 員	<p>支援ファイルの事ですけど、園長先生や校長先生で、園や学校に入る前等にファイルを持って来て、相談したいというご家庭の方は今までいたことがありますか。</p>

委 員	はい、去年、一昨年、持っていらっしゃった方がいました。
委 員	わかりました。ファイルは作ったけれども、現に持っているけれど使われていない というのだったら作る意味もないし、親御さんもどうしていいかも分らないし、入 学前、入園前に市、園、学校からでも、それを持ってきて話をしましょうという流 れになっていくと、もっと活用できるのではないかなと思うのでよろしく願いし ます。
会 長	貴重なご意見ありがとうございます。また関係課で、そういった連絡、連携が上 手くいくようお願いしたいと思います。それでは他にありませんか。
委 員	160 番の「交通安全教育」についてです。中学生とかは結構気をつけているのです けれども、やっぱ小学生低学年などは、冬場は特に歩道除雪がされて雪壁ができて いるのですけれども、そこから飛び出してくる子がいるのですね。それでひやりと したことがあります。低学年に対しての冬場の怖さというか、ロータリー除雪車 などもありますので、交通安全教育もしてもらえるとありがたいと思います。もう 一点。128 番の「地区公民館・分館講座」です。内容としては、いろいろ親子でや る教室もかなり充実していて、いい活動をしているなと思うんですけれども、結構 市内の行事や学校行事とかぶっていることがあるので、日程調整をしてもらえると 助かるなと思います。小学校高学年になるとクラブ活動とかスポーツ少年団に入り ますので、低学年のお子さんはこういうものに出席してもらえるように学校からも 言ってもらえるといいのかなと思います。
会 長	それでは最初の方は各学校での指導もありますでしょうし、それからスクールガー ドの方のまたご協力という話だったかと思うのですが、2点目は128番に係わるこ とで、市内の教室、市で行う行事が重ならないように調整をしていただけないか ということと、それから学校からもこういった行事に積極的に参加するように声掛け をしていただけないかということだったと思いますが、主に学校教育課になるか と思いますが、ご要望ということでよろしいでしょうか。
学校教育課	はい。
会 長	私も学校関係者の一人として、こういったことについて、機会を捉えて話してい きたいと思っています。ありがとうございます。他にありませんか。
委 員	行政と社協の段階でもお願いしたいことがあるのですが、今、時報が夕方は6時と か5時半とかですよね。夏場、入広瀬の方は5時になっていたのですが、子どもが 少ないのでよその子が遊びに来たりして、子守りしているおばあちゃんが、あんま

	<p>り遅くなると帰す方も危ないし、5時になったら家に帰すっていうふうにはできないものかと。保護者の方もそういう意見をもっている方がいるんですよね。なぜかと言うと、山の方ですので、仕事から帰るダンプやトラックの交通量が多くなる場所なので、その前に家に帰るよにということをお願いしたら、『それはちょっと難しい、全市一緒なので』ってことだったのですが、調整の仕方、この地区なら5時にその時報が鳴らせるようにできないでしょうか。5時にはもうチャイムが鳴ったら家に帰るっていうふうにしていただけたら、子どもたちにいいのではないかなと思っています。それから、スタントマン、交通安全教室でしょうか、私も過去に見て、すごくショックを受けました。もし一つの学校で1回というのではなく、人数の少ない学校だったら実施している所にバス配車なりして、体験させていただいたらいいのではないかなと思いますし、もしスタッフが必要ならば各地区に交通安全に関係している方がいますし、交通安全には女性部会というのもありますので、そういう方に協力を呼びかければよいのではないかなと思います。それからもう一つ、子どもの時に尾瀬というすばらしい所に行って経験することがすごく大事ですので、ぜひこれからも、続けていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。一番目のご質問というかご要望というのは、時報の時間を変えて欲しいということか、あるいは市内一斉に帰る時間が決まっているようなものだけでも、それがなんとかならないかということでしょうか。</p>
委 員	<p>地区によって、そうできないものかなと。難しいって言われましたけど、調整の仕方によってはできるかのはとおっしゃっている方がいましたので。</p>
会 長	<p>その時報の担当課がわかりませんか。</p>
事務局	<p>すみません。時報については、はっきりとしたお答えできませんけども。いわゆる地域ごとに時報が鳴る時間を変更できないかということだと思いますが、担当課に子ども・子育て会議の意見として伝えさせてもらってよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>よろしいでしょうか。はい。また、二点目は交通安全教室で、特にスタントマンなどが良かったということで、より多くの学校にそういったものを導入して欲しいし、小さいところは、どこかと一緒にやってもよいのではということでしたけれども、それをお願いしていただけないかということ、三点目は尾瀬の学習を続けていただけないかということですが、学校教育課いかがでしょうか。</p>
学校教育課	<p>もちろん継続実施で今後もやっていきたいと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。その他ご意見ありませんか。</p>

委員	交通安全に関することです。委員が言われた道路ですが、私もたまに、ここは入らないように思っているが入ってしまうことが何回かありました。車もそうですけど、子どもたちが横並びに歩いているのですね。なので、走る方の指導と子どもたちの指導と一緒にしていかななくてはいけないなと思いました。
会長	ありがとうございます。ご意見ということで関係課の方よろしくお願ひいたします。どうぞ。
委員	交通安全の事です。162番の交通安全について書いてある内容が結構学校を対象にしているように見えるのですが、なぜまちづくり室でやっているのか、これですと学校教育課のスクールガードにつながるような気がするんですけども、疑問に思いましたので、質問させていただきます。
まちづくり室	まちづくり室の中に交通対策係というところがありまして、そこで交通安全の担当をしております。そこで交通安全の教室等につきましては依頼を受けて、その係で県警等と連絡・連携をとって開催させていただいています。
委員	私はコミ協の方にも参加しており、そこで安全系のことをやっています、運転する人に対する交通安全喚起、それよりもやはり、こちらにも書いてある学校の子どもさん達の安全というのが重要じゃないかと思ってやっているのですが、であれば、関連性というか一緒に考えていくような形の方がよいのではと思います。というのは、その企画をやった時に、学校教育課に、こういうことをやるのでよかったですかという、ちょっと温度差を感じた部分があり、我々市民としては、少々疑問に思ったことがあったので、そう考えていってもらった方がよいのではないかと思います。
まちづくり室	その旨、中の方で調整していきたいと思いますので、ありがとうございます。
会長	他に意見ありませんか。
委員	102番「ALTの招致事業」についてです。これは他市と比べて魚沼市は高い率ですか。それからALTが2名と、週に2回、市内の全ての中学がこれを採用しておりますか。それから小学校がALT1名ということだそうですが、ここによると学校が派遣要望しないと行けないのかとか、そのあたりを教えてくださいたいと思います。これからは、オリンピックもありますので、英語で話をできないなんてと思いますし。それからもう一つ、外国語教育、というのは分るんですが、国際理解の教育というのは魚沼市としては統一的な見解があるのでしょうか。

<p>学校教育課</p>	<p>細かい資料がございませんので、あまり詳しくお伝えできなくて申し訳ありません。学校の要望ということでございますが、ひと月のALTが行く割り振りが決まっていますので、午前に行く学校、午後に行く学校とか、一日通して行く学校とか、そういったローテーションを組んでおります。その他に学校で要望する時間帯に来て欲しいというのがあれば、それにも対応できていると聞いております。外国人ALT 2人は二十代の男性が来ております。非常に勤勉でして、学校の方にも溶け込んで英語指導に取り組んでいただいている状況は聞いております。例えば英語の弁論大会に生徒が出る場合は、原稿の指導もしております。</p>
<p>会 長</p>	<p>では、補足ということで。英語については、英語活動というのを、どの学校でも行うことになっていて、一定の時間どの学校でも今やっているの、ALTの方たちが、今お話があったように各学校を回ります。当然空いた時間については、いわゆるそういった活動を重点的にやりたいという学校の要望で行くということで、どこかの学校が0で、どこかが多いかということではなく、教えなければならない時数は確実に満たしていただいているということです。それから国際理解教育につきましては、各学校、小学校も中学校も全体計画というのを作っております、区域活動の中でそれぞれやっていっています。ただ学校によって特色のある学校があります。例えば、地元で外国人の方がより多くいらっしゃることは、ある意味学校の特色となっておりますし、国際理解教育というのは、いわゆる英語活動とか英語教育だけではなく、日本の良さを学ぶという足元教育も含んでおりますので、まず自国のその良さを感じ、そして外国との違いを知り、そして目を広く広げていくというような大きなものですので、それも各学校できちっと計画を立てて取り組んでいるというのが現場の現状です。補足でした。よろしいでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>どこの学校へも入っているのですか。</p>
<p>会 長</p>	<p>そうですね。どこの学校も一定の時間、全部入っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>わかりました。私は、異なるものに対してどのくらいの寛容にできるかということが大切だと思います。英語のALTというのはやっぱり中学生の多感な中に大事なことだろうと思うので、どんどん異文化を取り入れて、スムーズに受けられるというような人を作った方がいいかなと。魚沼は特にその力がないように思っております。私も魚沼で生きておりますので、今、そのようなことを思いながら、自分の仕事をやっていこうかなと思っておりますので、よろしく願います。</p>
<p>会 長</p>	<p>素晴らしいご意見をいただきましてありがとうございます。引き続きご意見等いただきたいと思っております。</p>

副会長	142 番「奨学金」の部分です。魚沼市の方だと回収率が 33.6%というところですけど、前年に比べて落ちているのか、それとも増えているのか、教えていただきたいのですけれども。
委 員	昨年 28.1%でした。調べてきました。
副会長	ありがとうございます。他の自治体がやっているのもだいたいこれくらいの回収率ですか。
学校教育課	他の自治体についてはわかりません。
副会長	社会福祉協議会の方でもこういった部分をさせてもらっているのですが、60～70%くらいの回収率、それこそ民生委員さんから助けてもらってという部分ですけど。次世代の子どもたちが本当に教育を受けられるように40人と言わず、50人、60人ということで枠を広げてってもらいたいなと思います。回収率が良くなれば次の子どもたちの方にも貸し付けができるような形になると思うので、借り受けをする際、子どもたちが借受人になるのか、それとも親達が借受人になるのか、そこを教えていただきたいです。
学校教育課	本人です。
副会長	お父さん、お母さんが連帯借受人ですか。
学校教育課	そうです。
副会長	わかりました。
委 員	私も、その辺りが非常に気になる場所ですが。こういう奨学金は返済未納者が大変多くて困るというのが、どこの奨学金でもあがっていると思います。700万円くらい未納ということでしたでしょうか。今、その数字があがっていますけれども。それなのに、昨年評価が3.3だったのです。で、回収率が多少上がっていますが、この評価が4.3になっている。700万ぐら未納で、その4.3の評価はどういうふうにつけられたのかというところを聞きたいのと、徴収率の引上げと滞納額を縮めるということに努力したいということですが、手立てとして具体的にどういうふうを考えているのか。確かに払えない方も多くいらっしゃると思います。大変な状況の方も。だから借りるのだと思いますが、その辺りも、把握なさっているのかどうかというのをお聞きしたいと思います。

<p>学校教育課</p>	<p>この4. 3という評価について即答できなくてすみません。この奨学金といわれるものは、公金ですけども私債権と言われるものです。税金は公債権になりますので、滞納すると強制執行、要するに差押え、預金、預金や不動産を差押えて換価はできませんけども、私債権におきましては、そういった強制執行権がないので、滞納しても、裁判所に申し立てて、手続きを踏まないと強制執行ができないところがあります。もちろんそれ以前に督促催告はしておりますし、納付相談にお出でいただいて、分割納付の相談をしていただいているところではあります。もう学校教育課だけでは大変だという案件につきましては、税務課の指導を仰ぎながら、徴収納付をするように努力しているところでございます。</p>
<p>委 員</p>	<p>貸付ける際の基準というののどのようになっているのでしょうか。確かに困っている人に貸す物だとは思いますが、初めから払えないような方に貸すっていうことは、もうあげるといようなことを意味しているようにも理解できるのですが。私も子どもがおりますが、奨学金のお世話になっております。市の奨学金ではありませんが。四十歳くらいまで返さないといけないといつて、子どもたちはブーブー言っていますけれども、借りた以上は責任があるということで、どんな目をしてでも返しなさいということで、一切親はタッチしていないで子どもたちは返しています。それぐらいのことを教えていくのも教育のような気がします。そういうことを学校教育課でこうやっていって欲しいなというのが私個人の気持ちです。いかがでしょうか。そういう基準もしっかりとあって欲しいと思います。返せないのに貸してしまうというのは、何か少し違うような気がするのですが、その辺りはいかがでしょうか。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>合併してから十年ぐらい経ちますけども、魚沼市になってから当然貸付ける際は保証人がいます。合併前は保証人がなかった自治体もありました。保証人に頼ればそれは回収できるケースはありますけども、保証人がいない場合は本人しかいませんので、その辺が苦慮している部分があります。貸付ける基準につきましては、困っている世帯が申請してくるわけですから、所得基準とか、子どもさんの成績も加味しておりますので、その辺を踏まえながら審査をして決定しているというのもございます。当然子どもさんが借りて子どもさんが返すというのが原則になっておりますけども、中にはそういうケースではなくて、子どもさんの名前で親が借りるというケースもありますので、一筋縄ではいかないところもございます。返す時に、本人さんが返さなければなりませんよというのは、申請の時に当然申し伝えておりますので、私共としては、最善を尽くしているつもりでございます。</p>
<p>委 員</p>	<p>今後も最善を尽くしていただきたいと思います。それともう一点ですが、交通安全教育の点で、職員の方の確保、指導員の確保ということが出ましたので、幼稚園と</p>

	<p>しての取組として、毎年県警のゆきつばき号さんをお招きして指導を受けております。そうすると、日程さえ決まってしまうと、全部向こうの方がやってくださって、面白くって笑いながら子どもたちの中に入っていくというのが特徴で、7年くらいでしょうか、来ていただいています。また今年も日にちが合えば来ていただこうかなと思います。そういうような方法を利用されるといいのではないかなという気もします。まちづくり室の方が勉強させてもらいたいのでというふうに言っておられますので、そういうようなことも学校との抱き合わせでしています。井口小学校と抱き合わせでしていますが、そういうのも利用させるという手もあるかなと思いますので、お知らせいたしました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。他にありませんか。</p>
委 員	<p>23番「乳幼児保健支援デイサービス」病児保育のところの課題の所で、利用手続きが面倒というか煩雑で利用しにくいという意見があると書いてあるのですが、どのように使いやすくされるお考えなのかお聞かせください。</p>
子ども課	<p>改善計画まで確認しておりませんでしたので、今ははっきりとしたお答えができないで申し訳ありません。前日までの申し込みをしていただいて、利用していただくようにしておりますので、利用しにくいという意見が寄せられているのだと思います。</p>
会 長	<p>それでは、今の件については、またお調べいただいた後、個別にお答えいただくというのでもいいでしょうか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
会 長	<p>では、お願いします。その他ありませんか。</p>
委 員	<p>50番の「すくすく広場」についてですが、1、2月の開催が、雪のためというような理由でないのですが、雪がすごいからなかなか遠くまで行けないという状況も、遠くの方ではあるので、ぜひ1、2月こそ開催していただきたいなと思います。あと未満児参加が多いとおっしゃいましたが、多分保育園とかに行かれています方が多いと思うので、未満児参加を対象でいいかなというふうに思っていました。それから交通安全教育のあたりで、やっぱり雪解けの時期の怖さ、雪の怖さがすごく保護者としては心配なので、春から夏にかけての教育と書いてありますが、夏になる前に、雪解けの頃、春一番にぜひ自転車の安全教育を行っていただきたいと思っています。魚沼市の雪が多いことが、生活の中で雪とともに育つということであれば、ぜひ冬場の交通安全教育の活動を今後広げて行っていただきたいなと思っています。よろしくお願いします。</p>

会 長	ありがとうございます。ご意見、ご要望ということでよろしいでしょうか。
委 員	はい、お願いします。
会 長	ありがとうございました。他にありませんか。
委 員	この評価シートとは別なのですが、ご存知の方もおられるかと思うんですけれども、3月8日に南魚沼五日町の方で、SO、スペシャルオリンピックというのが、オリンピック2016新潟のリハーサル大会が行われ、新潟日報やNHKのニュースの番組でも出たんですけど、スペシャルオリンピックというのは、知的障害がある人達に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表である大会や競技会を年間通して提供している国際的なスポーツ組織だそうです。魚沼の子も南魚沼の子もはじめとして、長岡、新潟の方からも多くのアスリート、選手の方が集まって、五日町の記録大会では真剣に取り組んでいました。特別支援学校のお子さんも多く出られていました。これからまた、小さい特別支援学級のお子さんや、まだ小さいお子さんにもこのSOというスペシャルオリンピックという存在を知っていただいて、興味を持っていただいて、参加とか練習とかに来ていただければいいなと思いが紹介させていただきました。来年、2016年2月にはSO全国大会冬季大会が新潟県で行われます。そこには県内からも多くのアスリート、また、私達保護者とか他に特別支援学校の先生や多くのボランティアの方々も参加されます。そのためには、多くのボランティアの方が必要となるので、この場で皆さんにもSOということを知っていただいて、周知できたらいいなと思ってお話させていただきました。SOというのは、子どもたちの体力をつけるスポーツをすることだけではなく、スポーツをする中で子どもたちの社会性を身につけたり、また、指導してスキルアップしていったりする中で、自分の自立への意識を高めるということも目的とされているそうです。そしてまた、活動に参加してくれるボランティアの方も、そのアスリート、知的障害のある方に接することで、知的障害者に対する理解を深めることによって、お互いに多くの事を学んで、地域社会を、アスリートを普通に当たり前に受け入れてくれるということになる一つだと思いますので、興味がある方がいたらまたお話いただければいいと思いますし、冊子も出ています。かけはしの相談員の方が、小さいお子さんにSOのことちょっとお話したことがあると聞きましたので、プレー教室とかつくし教室とか、学校の中の特別支援学級の中でも、ぜひお話を皆さんからしていただければいいなと思いますので、よろしくお願いします。
会 長	情報提供していただきましてありがとうございました。他に、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ここでご意見いただく場面を閉じてよろしいでしょうか。今日、話し合われたこと、ご意見、ご要望もたくさんあったわけですが、予算等に

	<p>反映できるものはまた反映していただくと、それから、この課題を踏まえて、新しい事業を組む時の参考にしていただくとなどして、委員の皆様の貴重のご意見が施策等に反映されることをお願いして、この意見交換を終了したいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>すみません。一点お話させてください。お願いしたいなと思う事があります。外国語教育に関して、一生懸命やっていたら学校を通じて思っておるんですが、できれば、留学とか、それから海外に目を向けている子どもたちも大変多くて、そういったところにも、学校教育課のような信頼できる所から、こういうところがありますとか、一緒に行きませんかでもよいですけども、そういったものを考えていただけると。今、海外に興味を持っている子もいっぱいいます、留学したいとか、外の世界を見て行きたいと言っている意欲的な子もいるので、ぜひそういうのも考えていただければなと思っています。学校の長期休業期間のALTの活用について検討する必要があると書いてあるかと思うんですけども、それについても夏休みに、英語村でしたかあったかだと思います。非常にそれに参加した子どもたちは楽しかったと、一日英語で話してよかったというのを聞いたので、ぜひそういった取組を小さいうちから、もちろん保育園もいかなと思いますし、さらに、中学生、高校生向けの、もうちょっとワンランクアップしたものとかも取入れてもらえれば、保護者としてはすごくうれしいなと思う部分があります。</p>
<p>会 長</p>	<p>ご意見言っただいてよかったです。 では最後に5のその他について事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>長時間にわたりましてありがとうございます。私の方から一つ補足をさせていただきます。185番「保育園訪問事業」ですが、昨年度のこの会でも障害児支援についてたくさん意見が出されたと思います。今年度厚生室の音頭で、障害児支援に係わる関係者が集まりまして、その際に、保育園、幼稚園で、支援の必要なお子さんが増えているというお話をさせていただきましたし、この会議でもそういったご意見はいただいていますというお話を報告させていただきましたら、ちょうど特別支援学校の先生がその場におみえになっていまして、その場で「協力しますよ」というありがたいお返事をいただきました。その後、特別支援学校と子育て支援センターとの話し合いが成立し、園訪問に新年度から特別支援学校の先生も入って下さるということになりました。また今後の経過を皆さんにご報告したいと思います。この会議のご意見から繋がった部分があったということでお礼を申し上げたいと思います。</p> <p>最後に、3月31日で皆様の任期が終了となります。本当にありがとうございます。現在、お知らせ版でご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、3月10日から3月24日まで、第二期目の子ども・子育て会議の委員の公募をさせていただいております。またぜひという方がいらっしゃいましたら、今日用紙をお持ち</p>

	<p>しておりますので、帰りにお声掛けをいただければと思います。また、どなたかという方がいらっしゃいましたら、その方に声を掛けていただいて、この会議のことをご紹介いただければありがたいなと思っております。以上です。ありがとうございました。</p>
<p>会 長</p>	<p>皆様のご協力のおかげで6回以上、それから部会も入れては10回近くのこの会議が行われたわけですが、毎回皆さんから本当に活発なご意見をいただきました。皆さんの関心の高さとその意欲の高さを、感じながらこの会を運営させていただきました。一年間大変どうもありがとうございました。では事務局に交代いたします。</p>
<p>高橋課長</p>	<p>会長をはじめ、皆様今日は本当にお疲れ様でございました。様々な目線でご意見をいただき、これから各課で方向性をつけながらきちんとやって行きたいと、身が引き締まる思いでおります。今日は長時間に渡りありがとうございました。お疲れ様でございました。</p> <p style="text-align: right;">終 了</p>